



だいせん

平成29年11月1日
第50号

市議会だより

DAISEN CITY COUNCIL NEWS



改選後の新しい 議会がスタート

大雨災害並びに地震災害に被災された
皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

大仙市議会

主な内容

CONTENTS

■新議長・副議長、議会構成	2～3
■第3回定例会の概要	4～5
■7人の議員が一般質問	6～9
■委員会審査のあらまし	10
■大雨被害状況調査	11
■先進地に学ぶ	12～13
■市政懇談会のご意見・ご要望	14～15
■編集後記 ほか	16

改選後の新しい議会がスタートしました

10月5日に第2回臨時会が開催され、大仙市議会4期目の4年間がスタートしました。本会議では議長と副議長の選挙が行われ、単記無記名投票の結果、茂木隆議員26票、佐藤文子議員2票となり、茂木隆議員が議長に選出されました。副議長は、高橋幸晴議員26票、藤田和久議員2票となり、高橋幸晴議員が副議長に選出されました。

また、各常任委員会と議会運営委員会の委員の選任や、大曲仙北広域市町村圏組合など一部事務組合への代表議員が選出されました。

当局から追加提案された議会選出の監査委員では、古谷武美議員が選出されました。

議長就任あいさつ



議長
茂木 隆



副議長
高橋 幸晴

市民の皆さまには、日ごろより市議会に対し、温かいご支援とご理解を賜り、心から感謝申し上げます。また、7月の豪雨、9月の地震により被災された皆さまには、心よりお見舞い申し上げます。

去る10月5日の第2回市議会臨時会におきまして、議長に就任させていただきました。身に余る光栄に存じますとともに、その職責の重大さを痛感しているところであります。

1市6町1村が合併し、大仙市が誕生してから13年目を迎えました。この間、地方分権時代にふさわしい住民主体のまちづくりを目指し、その歩みは一步一步着実に進んできております。しかしながら、少子高齢化社会の中で、市の中心部・周辺部問わず、子どもや若い方がなくなってきたており、一方では、一人暮らしの高齢者の方がたくさんおられる状況にあります。そういう社会的弱者に対して、議会はもつともつと目を向けていかなければならないと考えております。

議会は市執行部のチェック機関としての役目を持つておりますが、市民の福祉向上のためにも、議会としての政策立案が急務であります。各会派の融和を図りながら、自由闊達な討議を重んじ、さらには議会改革にもなお一層努め、市民の皆さまに信頼される議会となるよう、全力を尽くす所存でございます。

結びにあたり、今後とも大仙市議会に對しまして、一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます、就任のあいさついたします。

議会の構成 「◎委員長 ○副委員長」

議会運営委員会

大曲仙北広域市町村圏組合議会議員

◎児玉 裕一
○渡邊 秀俊

茂木 隆
秩父 博樹

秩父 博樹
佐藤 文子

高橋 敏英
橋本 五郎

小山 緑郎

高橋 敏英

後藤 健
古谷 武美

茂木 隆
後藤 健

広報広聴常任委員会

大仙美郷環境事業組合議会議員

◎後藤 健
○高橋 徳久

佐藤 芳雄
後藤 健

小笠原昌作
佐藤 隆盛

茂木 隆
古谷 武美

挽野 利恵
佐藤 文子

古谷 武美
大山 利吉

小山 緑郎
佐藤 育男

秋田県後期高齢者医療広域連合議会議員

古谷 武美
橋村 誠

茂木 隆

議会改革推進会議

民生委員推薦会委員

石塚 柏
秩父 博樹

小松 栄治
藤田 和久

佐藤 文子
小山 緑郎

青少年問題協議会委員

小山 緑郎
小松 栄治

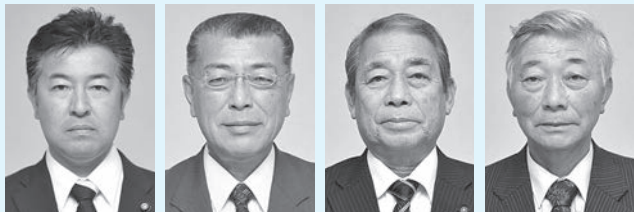
都市計画審議会委員

古谷 武美
高橋 徳久

秩父 博樹
挽野 利恵

企画産業

●企画部、農林部、経済産業部、農業委員会の所管に属する事項の審査を行います。



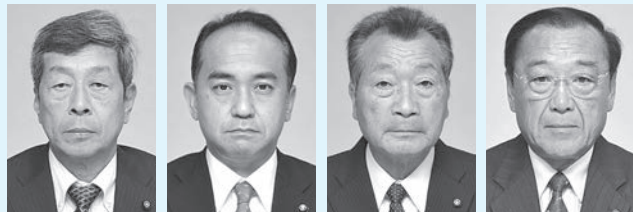
◎秩父 博樹 (公明党) ○小山 緑郎 (新政会) 富岡 喜芳 (創生会) 児玉 裕一 (だいせんの会)



渡邊 秀俊 (新政会) 鎌田 正 (大地の会) 橋村 誠 (だいせんの会)

総務民生

●総務部、市民部、会計管理者、監査委員、選挙管理委員会の所管に属する事項の審査を行います。



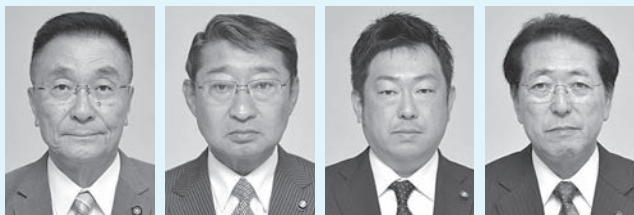
◎金谷 道男 (大地の会) ○高橋 徳久 (だいせんの会) 佐藤 隆盛 (市民クラブ) 本間 輝男 (創生会)



佐藤 文子 (日本共産党) 佐藤 清吉 (新政会) 茂木 隆 (新政会)

建設水道

●建設部、上下水道部、水道局の所管に属する事項の審査を行います。



◎石塚 柏 (大地の会) ○三浦 常男 (市民クラブ) 後藤 健 (大地の会) 佐藤 育男 (大地の会)



古谷 武美 (だいせんの会) 佐藤 芳雄 (だいせんの会) 橋本 五郎 (新政会)

教育福祉

●健康福祉部、教育委員会、市立大曲病院の所管に属する事項の審査を行います。



◎小松 栄治 (新政会) ○挽野 利恵 (公明党) 高橋 幸晴 (大地の会) 小笠原 昌作 (地域住民の会)



藤田 和久 (日本共産党) 大山 利吉 (大地の会) 高橋 敏英 (だいせんの会)

第3回定例会

第3回定例会は、8月28日から9月13日までの17日間の会期で行われました。

本会議1日目に、老松市長の市政報告が行われ、市当局提出の人事案4件を同意しました。

本会議4日目に、市当局提出の専決処分報告6件、条例案4件、単行案1件、補正予算案6件、決算認定2件をそれぞれ承認・原案可決・認定したほか、請願3件のうち2件を採択、1件を趣旨採択、陳情4件のうち3件を採択、1件を不採択とし、意見書案2件を原案可決しました。

一般質問は、7人の議員が市政全般について、市当局に質問しました。

※第3回定例会の録画映像は、大仙市ホームページの議会のページでご覧いただけます
(市議会トップページ→議会中継(映像アーカイブ)→平成29年第3回定例会 本会議)

人事案

▼人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて(全会一致で同意)

佐藤良幸氏(神岡地域・再推薦)
進藤重幸氏(協和地域・再推薦)
熊谷庄治氏(大曲地域・新規推薦)
伊藤芳広氏(南外地域・新規推薦)

条例案

▼大仙市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例の制定について(全会一致で可決)

年の途中で新たに会派が結成された場合における政務活動費について、会派が結成された翌月分からの交付としている現行の規定を、会派の結成が月の初日に当たる場合は、結成された当月分から交付することとする規定に見直すため、改正されました。

補正予算

▼平成29年度大仙市一般会計補正予算(第5号)(全会一致で可決)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ8億685万9千円を追加し、補正後の総額は48億1,040万4千円となりました。

主なものは、県が実施する圃場整備等の土地改良事業の追加に伴う負担金3億6,480万6千円、道路台帳

データの年度更新を行う経費1億2,630万6千円などです。

▼平成29年度大仙市一般会計補正予算(第6号)(全会一致で可決)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ2億7,940万5千円を追加し、補正後の総額は5億2,980万9千円となりました。

主なものは、国の補助を受けて実施する、大雨災害で被災した施設の復旧工事費などで、農地や農道・水路等の農業施設47カ所5億3,731万7千円、林道16カ所1億2,950万円、道路・橋梁など66カ所10億6,010万円、河川34カ所3億8,640万円、西仙北地域の大佐沢公園1,001万2千円、神岡地域の中川原グラウンド902万9千円などです。

▼平成29年度大仙市特定環境保全公営下水道事業特別会計補正予算(第3号)(全会一致で可決)

国の補助を受けて実施する、被災した協和中央浄化センターの復旧工事費2億4,900万円です。

▼平成29年度大仙市簡易水道事業会計補正予算(第3号)(全会一致で可決)

被災した中仙・西仙北・協和地域の簡易水道施設の復旧工事費などで8億1,885万円です。

意見書案

▼「全国森林環境税」の創設に関する意見書(賛成多数で可決)

(反対討論)

藤田和久議員(日本共産党)

森林環境税については①森林の多面的機能の強化は国土保全として、国家予算を大幅に増やして実施すべき②秋田県では「水と緑の森づくり税」として県税で徴収されており、税金の二重取りともいえる③景気回復の兆しが見られない中で増税することは認められない④こうした立場から、意見書提出に反対する。



本会議第4日目 起立採決(意見書案第40号)

平成29年第3回定例会 議決結果

番 号	件 名	議決結果
報告第7号	専決処分報告について(平成29年度大仙市一般会計補正予算(第3号))	承認
報告第8号	専決処分報告について(平成29年度大仙市農業集落排水事業特別会計への繰入額の変更について)	承認
報告第9号	専決処分報告について(平成29年度大仙市一般会計補正予算(第4号))	承認
報告第10号	専決処分報告について(平成29年度大仙市特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算(第2号))	承認
報告第11号	専決処分報告について(平成29年度大仙市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号))	承認
報告第12号	専決処分報告について(平成29年度大仙市簡易水道事業会計補正予算(第1号))	承認
議案第110号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて【佐藤良幸氏】	同意
議案第111号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて【進藤重幸氏】	同意
議案第112号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて【熊谷庄治氏】	同意
議案第113号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて【伊藤芳広氏】	同意
議案第114号	大仙市農村地域工業等導入実施計画審議会設置条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第115号	大仙市児童館及び児童センターに関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第116号	大仙市営住宅条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第117号	字の区域の変更について	原案可決
議案第118号	平成29年度大仙市一般会計補正予算(第5号)	原案可決
議案第119号	平成29年度大仙市太陽光発電事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第120号	平成29年度大仙市簡易水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第121号	平成28年度市立大曲病院事業会計決算の認定について	認定
議案第122号	平成28年度大仙市上水道事業会計決算の認定について	認定
議案第123号	平成29年度大仙市一般会計補正予算(第6号)	原案可決
議案第124号	平成29年度大仙市特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第125号	平成29年度大仙市簡易水道事業会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第126号	大仙市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
請願第12号	請願書(「刈和野の大綱引き」関連施設建設について)	趣旨採択
請願第13号	西仙北地域一ツ鶴地区の緊急避難路に関する請願	採 択
請願第14号	川原集落集団移転に関する請願	採 択
陳情第57号	共謀罪(テロ等組織犯罪準備罪)法案の国会提出に反対する陳情	不採 択
陳情第61号	日本政府が核兵器禁止条約の交渉会議に参加し、禁止条約の実現に努力することを求める意見書についての陳情	採 択
陳情第62号	大曲西中学校の西根・仁応治地区の通学路道路整備に関する陳情書	採 択
陳情第63号	「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情について	採 択
意見書案第40号	「全国森林環境税」の創設に関する意見書	原案可決
意見書案第41号	核兵器禁止条約の交渉会議に参加し、禁止条約の実現に努力することを求める意見書	原案可決

第3回定例会賛否一覧

※議案等について、賛成、反対の双方があった場合のみ、表示しています。

議案等名	議決結果	大地・公明の会										新政会				だいせんの会				共産党	長 三浦								
		鎌田正	高橋幸晴	大山利吉	金谷道男	秩父博樹	後藤健	佐藤育男	石塚 柏	富岡喜芳	大野忠夫	本間輝男	千葉 健	橋本五郎	小松栄治	佐藤清吉	渡邊秀俊	茂木 隆	小山緑郎	高橋敏英	佐藤芳雄	古谷武美	橋村 誠	児玉裕一	高橋徳久	佐藤文子	藤田和久	佐藤隆盛	
陳情第57号 共謀罪(テロ等組織犯罪準備罪)法案の国会提出に反対する陳情	不採 択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	
陳情第63号 「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情について	採 択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○
意見書案第40号 「全国森林環境税」の創設に関する意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議案賛成者は○とし、反対者は●とします。議長は採決に加わらないため、斜線としています。



石塚 柏 議員（大地・公明の会）

Q 平成23年の洪水時と比べて、今回の大雨の降水量は

A 協和峰吉川観測所で2.7倍の364ミリ

【質問】気象庁は1時間に50ミリの大雨の頻度が、3割も増加していると発表した。市はどのように洪水対策に生かすのか。

【市長】国・県との連携をより強固なものとし、ハード・ソフト対策を一体的、計画的に推進し、洪水に備えてまいりたい。

【質問】住宅密集地の住民の避難態勢にどう取り組むのか。

【市長】現在ハザードマップを作成中で、11月に全戸配布を予定している。この配布と歩調を合わせ、自主防災組織に避難訓練を呼びかけ、水害時には消防団・自主防災組織と連携し、早めの避難を呼びかけていく。

【質問】福部内川のアンダーパスから溢れた水が、福見町内の洪水の原因になっているが。

【市長】福部内川の水位がアンダーパスの歩道部よ

り高くなっており、福部内川の水位を改善しない限り抜本的な対策は困難である。築堤整備が進むと、水位の上昇が予想されるので、県と対応策を検討していく。

【質問】大曲市街地のアンダーパスが水没し、通行止めになった。都市機能維持の観点は。

【市長】多発する浸水被害に対応するため「水害対策に関する総合計画」を策定したい。これにより、浸水被害の軽減・最小化・解消を図ることが可能になると考えている。

【質問】大曲厚生医療センターが通行止めで、都市機能が麻痺したが。

【市長】厚生医療センター周辺の排水対策として、丸の内ポンプ施設の増強を図りたい。

【質問】大曲東部（丸子町、福見町、戸巻町、戸蒔）は、避難する場所がないのではないかと。

【市長】大曲東部地区では避難に適した公共施設がないので大曲工業高校を指定しているが、新たな避難施設が確保できるか検討してまいりたい。

※このほか、産業展示館の美術展示場の確保について質問しました。



藤田和久 議員（日本共産党）

Q 水害を繰り返さない防災対策をせよ

A 国・県に築堤工事の早期完成を求めていく

【質問】水害で再三被災されている住民の気持ちをどのように考えているか。また、これ以上水害に遭わないよう、国や県に緊急に要請してもらいたい。

【市長】7月22日の大雨では排水作業が追いつかず、今回も浸水を防ぐことができなかったことは、大変申し訳なく思っている。国へは無堤部の早期築堤、県には福部内川築堤工事の早期完成を強く要望していく。

【質問】今回の水害の特徴は。また、どこに重点を置いて復旧・復興を目指すのか。

【市長】雄物川の無堤部からの溢水、市西部地域の山間部での土砂災害を伴う中小河川の氾濫、市内全域にわたっての内水氾濫の発生、この三つが同時に起こり被害が拡大したことが今回の特徴と捉えている。市では災害復旧本部会議を開催し、被災者の生活再建支援や、農地・農林業施設、道

路・橋梁や公共施設の災害復旧などに、市を挙げて取り組むことを確認している。

◆市道南外20号線・高寺鋤台線の舗装工事は

【質問】南外20号線・高寺鋤台線の舗装工事は、なぜストップしているのか。生活道路なので舗装を検討してほしい。

【久米副市長】大曲側の高寺鋤台線に急勾配の区間があり、迂回ルートを建設する計画もあったが、膨大な費用を要するため断念した経緯がある。現道は狭隘かつ急勾配で、車両の交差も困難な状況であるため舗装せず、敷砂利等の維持管理を徹底してまいりたい。

【質問】冬期も通行できるように除雪できないか。また、路肩の草刈りを市の方でできないものか。

【久米副市長】急勾配のため除雪作業が困難で、路面凍結時には車両の通行も非常に危険な状態となる。このため冬期間の除雪は、安全確保の観点から困難であると考えている。路肩の草刈りは利用状況等を勘案し、適切な時期に実施してまいりたい。



三浦常男 議員 (市民クラブ)

Q イベントへの動員で、業務に影響はないか

A 影響は極力抑えるよう努めている

【質問】市のイベントへの職員の動員で、職員の本来の本業への影響はないか。

【市長】複数日のイベントでは原則、期間中の1日の従事とし、勤務時間も長時間とならないようにし、本来の業務への影響は極力抑えるよう努めている。

【質問】市民サービスの低下につながっていないか。

【市長】平日に開催されるイベントでは、できる限り平常業務の人員を確保しながら、職員間の連絡調整を密にするなど、市民サービスの低下を招かないよう努めている。

【質問】イベントの際、臨時職員対応により、雇用創出につながるのではないか。

【市長】業務内容や予算に応じて、一部業務委託や臨時職員で対応しているが、雇用創出や職員の負担を軽減する方策を、引き続き検討してまいりたい。

◆今後の水田農業のあり方は

【質問】今後の生産調整と経営所得安定対策の方向性は。

【市長】平成30年産以降は、農家やJA等が自らの経営判断で生産量を決定する仕組みに変わる。市では、県が算定し公表する県全体の「生産の日安」を踏まえ、農家やJAが生産量を判断できる環境づくりを進めていく。経営所得安定対策は、農林水産省の平成30年度予算の概算要求では、米の直接支払交付金は本年度で廃止されるが、大豆等交付対象となる作物や転作に伴う交付金は維持する内容となっている。

【質問】6次産業化の推進状況は。

【市長】8月2日に、トマトを主原料とする搾汁加工施設が完成し、稼働している。今後も6次産業化に取り組む農業者等の規模拡大や事業展開の意向に的確に対応し、新たな起業者の掘り起こしも視野に入れ、6次産業化の推進に取り組んでいく。

【質問】メガ団地の今後の方向性は。

【市長】生産性と収益性に優れた農作物を模索し、県やJAと連携を図りながら「メガ団地」事業を推進し、新たな展開に向け取り組んでいく。



高橋徳久 議員 (だいせんの会)

Q 地元食文化に支援を

A 掘り起こしを進め、積極的に応援していく

【質問】地元ならではの食文化を食ブランドと位置づけ、今まで以上に特産品開発・観光に結びつのように支援していただきたいが。

【市長】今年度は市内6事業者により、地場産の農産物を原料とした「ひとくちお土産」の開発に取り組んでいる。各地域の食文化や地域に根ざした料理のさらなる掘り起こしを進め、食のブランド化や観光商品化の検討などを行い、積極的に応援していく。

◆観光の「動線」と「景観」の検討を

【質問】(仮称)花火伝統文化継承資料館の位置づけは。

【市長】資料館は花火資料を収集・保存し、後世への確実な継承を目的とする生涯学習施設であるが、

観光面においても積極的に活用し、観光振興につなげていきたい。

【質問】地元商店街と一緒に、観光客の「動線」を検討していただきたい。

【市長】地元商店街を交えた動線は、花火通り商店街等の意見を伺いながら進めてまいりたい。資料館からの動線は、ボランティア団体が行っている大曲まち歩きツアーなどとの連携を検討しながら、資料館を中心とした周辺への回遊を促進していく。

【質問】丸子川付近の景観保全のために、柳を植樹していただきたいが。

【市長】平成元年から9年にかけて県が実施した「ふるさとの川モデル事業」の整備構想に基づき、左岸側はブルーノ・タウトが絶賛した風景を保存するため、現存する柳を景観樹木として保全するとともに、新たに苗木を植樹したが、現在は倒木などにより4本が残るだけとなっている。今後は、現存する自然資源を適切に管理し、可能な限り地域の方々が大切にしてきた景観の保全に努めていく。

※このほか、大仙市子ども・若者総合相談センター「びおら」・「ふらっと」委託事業について質問しました。



小山緑郎 議員（新国会）

**Q 農業関連の災害復旧に
全額公費負担を**

**A 補助事業を活用し、
農家負担の軽減を図る**

【質問】農業関連の災害復旧について、全額公費負担にできないか。

【市長】今般の国庫補助災害に係る復旧事業費は、国庫補助率80%で算定しているが、激甚災害指定に伴う補助率かさ上げにより、最終的には大幅な負担軽減になると見込んでいる。国庫補助災害復旧事業の対象外となる「40万円以下」の小規模農地災害復旧は、市単独で補助するが、通常の50%補助から75%に補助率をかさ上げし、農家負担の軽減を図る。今後も国・県の動向を注視し、可能な限り補助事業を活用し、農家負担の軽減を図っていく。

◆慢性化している災害箇所の対策は

【質問】慢性化している増水や土砂災害箇所につい



土砂が流入した農地

て随時予算化し、対策を講じる必要があると考えるが。

【市長】家屋の浸水や道路の冠水、土砂流入の被害など、こうした被災の応急対応にあたられた水防団員等から被害や対応の状況を聞き取り調査し、災害発生危険箇所の把握と課題抽出を行い、対策を検討していく。また、圃場整備等で水路の流下機能が向上し、洪水被害の発生が懸念される箇所は、下流の河川管理者である県に対し、圃場整備と同時施工による一体的な河川改修を要望している。



秩父博樹 議員（大地・公明の会）

**Q 各支所に災害時特別
体制を組織すべきでは**

**A 状況に応じて速やかに
対応できる体制を整える**

【質問】災害時には最初から地域に精通した職員を各支所に配置した災害時特別体制を組織し、各種の問題に円滑に対応できる体制を整えておき、災害時におけるタイムラインに沿っての役割分担を定期的に訓練しておく必要があると考えるが。

【市長】地域の出身者や支所に勤務経験がある職員など、地域に精通した職員をリストアップし、応援要請や災害の状況に応じて速やかに対応できる体制を整える。タイムラインに沿った役割分担や定期的な訓練は、大雨災害を検証していく中で検討する。

【質問】道路が寸断された場合でも、できるだけ早く各地の避難所に水や食料をはじめとする備蓄品を届けられるよう、災害時備蓄品は各支所それぞれに分散備蓄し、なおかつ備蓄量を増量すべきと考えるが。

【市長】備蓄品は、昨年度より食料や水、毛布など

の備蓄品を各支所や大曲地域の公民館など21カ所に分散備蓄している。今後、各地域の備蓄量を増やすとともに、避難所となる施設にも備蓄するなど、災害時に速やかに避難者に食料や水、毛布などを提供できる体制を整える。

【質問】普段から防災に対する意識を高めるため、女性の視点を生かしたさまざまな知恵を満載した防災ブックを作成し、市民に配布すべきと考えるが。

【市長】11月に全市民に配布を予定している新しいハザードマップの中で、防災への知識や情報受信手段などを掲載する計画だが、女性の視点を生かした防災ブックの作成配布は今後検討する。

【質問】冠水しやすいアンダーパスに水深標示を設置し、市民の安全を期すべきと考えるが。

【市長】アンダーパスへの水深標示は、ドライバーへの啓発や冠水時の危険回避に有効な方法である。市民への注意喚起にもつながると思われるので、交通量が多く、頻繁に冠水が発生しているアンダーパスより、水深標示の設置を順次進めていく。

※このほか、胃がん対策の強化、大仙市版ネウボラの設置について質問しました。



佐藤文子 議員 (日本共産党)

Q サービス提供体制の現状と問題は

A 訪問型A、通所型Aとも1社

【質問】軽度の要介護者への介護予防・日常生活支援総合事業のサービス提供体制は、どこまで進んだのか。現状と問題点は。

【市長】新たに始まる訪問型サービスA(※1)の実施事業所は、8月末現在シルバー人材センター以外に申し込みがないため、同センターに委託し実施する。通所型サービスA(※2)の事業は県南ふくし会へ委託しており、現在39名が利用しているが、大曲地域の1カ所であり、実施事業所を募集している。

【質問】第7期介護保険事業計画における保険料を引き下げよう求めるが、見込みと併せ見解を伺う。

【市長】現時点では平成30年4月からの報酬改定額が未定であり、具体的な見込額は示せないが、現行の6,100円を上回ると考えている。今後、介護給付費等準備基金の取り崩し等により、可能な限り大幅な保険料の増加を抑えた額となるよう調整し

- ※1 訪問型サービスA … 身体介護を伴わない掃除・洗濯・炊事を利用者で行うサービス
- ※2 通所型サービスA … 半日のデイサービス

てまいりたい。

◆子どもの均等割軽減を

【質問】子育て支援策の一環として、国保税における子どもの均等割を軽減する措置は有効と考える。全県に先駆け実施してはどうか。

【市長】子どもの均等割を軽減することは、さらに一般会計からの繰入額を増額することになる。国保世帯の子どものみ支援することになり、国保以外の医療保険加入の子育て世帯との間に公平性を欠くことになる。現行の全額国・県の公費で補われる低所得者世帯の軽減制度と同様に、子どもの均等割を軽減する制度創設が望ましく、全国市長会でも求めている。全国知事会も同様の要請を行っていると同っており、県の協力を得て実現に向け国に働きかける。

会派の構成

〔◎代表 ○副代表〕

大地の会 (7人)

◎鎌田 正 ○高橋 幸晴

大山 利吉 佐藤 育男

後藤 健 石塚 柏

金谷 道男

新政会 (6人)

◎橋本 五郎 ○小松 栄治

◎佐藤 清吉 渡邊 秀俊

茂木 隆 小山 緑郎

だいせんの会 (6人)

◎高橋 敏英 佐藤 芳雄

古谷 武美 橋村 誠

児玉 裕一 高橋 徳久

日本共産党 (2人)

◎佐藤 文子 藤田 和久

市民クラブ (2人)

◎佐藤 隆盛 三浦 常男

公明党 (2人)

◎秩父 博樹 挽野 利恵

創生会 (2人)

◎富岡 喜芳 本間 輝男

地域住民の会 (1人)

◎小笠原 昌作

ようこそ 大仙市へ

行政視察の受け入れ状況をお知らせします。

〔7月〕

- 11日 大分県国東市議会 (小中学校の学力向上について)
- 13日 埼玉県川島町議会 (小中学校の学力向上について)
- 18日 埼玉県富士見市議会 (小中学校の学力向上について)

〔8月〕

- 3日 静岡県浜松市議会 (都市機能の集約について)
- (地元商店主によるまちづくりについて)
- 23日 神奈川県川崎市議会 (小中学校の学力向上について)

教育福祉常任委員会

専決処分報告1件、条例案1件、補正予算案2件、決算認定1件、請願1件を審査しました。

●経費と期間は？

【問】中川原のグラウンド部分を原状に復帰して使用するには、どのくらいの経費と期間が必要か。

【答】グラウンドの表土流出部分に掛かる経費が605万2千円ほどとなっている。予算成立後の契約・施工となり、雪が降る前に工事を終え、来春からの使用を見込んでいる。

●工期はいつまでか？

【問】被災した協和中学校野球場の、測量設計の工期はいつまでか。

【答】予算成立後発注し、10月の初めごろの予定である。工事そのものは、できるだけ今年度中に実施したいと考えている。

建設水道常任委員会

専決処分報告5件、条例案1件、補正予算案5件、決算認定1件、請願1件、陳情1件を審査しました。

●被害総額は？

【問】今回の大雨災害で、道路・橋梁等を含め、建設部全体では、どれくらいの被害額を見込んでいるか。

【答】建設部全体として、約19億円の被害額と見込んでいる。

【問】西仙北・協和地域の被災した橋梁の復旧工事は、いつごろ発注するのか。

【答】国の災害査定が10月に予定されているが、その結果を受けて早期に発注したいと考えている。遅くとも3年以内には復旧する見込みである。

【問】被災した橋梁は生活道路の一部でもある。早期に復旧しないと、住民の方々がたいへんだと思うが。

【答】橋梁は住民の生活に密接に関わっているもので、早急に復旧するよう努めてまいりたい。

総務民生常任委員会

専決処分報告2件、条例案1件、単行案1件、補正予算案3件、請願1件、陳情2件を審査しました。

●災害見舞金の考え方は？

【問】最近の住宅は、床下に冷暖房などの電気機器を設置しているが、見舞金の考え方は、住宅の構造等の変化に対応していくのか。

【答】見舞金は、今後、住宅の状況に変化がある場合は、その時点で考え、対応していく。

●河川の砂利の処理を

【問】河川に大量の砂利が堆積して、河床が上がった。その処理を急いでやっていただきたいが、当局としてどのように臨むのか。

【答】土砂の流入によって河床が上がった県管理河川は、今後、工事していただくよう要望していく。

企画産業常任委員会

専決処分報告1件、条例案1件、補正予算案2件、陳情1件を審査しました。

●被災した農地の復旧は？

【問】農地の復旧は、来年の作付けまでにできる見込みか。

【答】小規模災害は、年度内の完成を求め、速やかに工事を進める。土砂撤去などの工事が多い箇所は、個々に業者へ依頼せず、建設業協会等を通して、ある程度の面積をまとめて業者に依頼するなど、連携をもって計画的に進めていく。

●返礼品の内容は？

【問】「ふるさと納税制度」関連経費で、今回拡充された返礼品は。

【答】大曲の花火を栈敷席で鑑賞できるツアーを盛り込んだほか、酒・米以外の返礼品を盛り込んでいる。花火ツアーは、添乗員が対応する旅行業者に委託していきたい。

大雨災害の被害状況調査を実施

7月22日からの集中豪雨での災害復旧に対する要望・提言のため、31日に各地域の被害状況の現地調査を行いました。

また、8月9日に、一日も早い復旧・復興を目指して、下記事項について市長に要望書を提出しました。

1. 被災者に対する支援を早急を実施していただきたい。
 - ①被災者支援に関する情報の提供と周知
 - ②災害ごみの排除
 - ③必要に応じたボランティアの活用
 - ④支援物資の供給体制の整備
 - ⑤各種補助事業の被災者への拡充
 - ⑥被災したことで生じた各種問題に対する相談体制の整備
2. 主要河川の無堤箇所早期築堤と、このたびの災害で越水した箇所の嵩上げの実現および浸水常襲地帯に浸水解消のための常設ポンプを設置していただきたい。また、当面の対策として、主要河川の浚渫工事を実施していただきたい。
3. 二次災害が想定される道路、農業施設、あるいは農地等に対し、早期に対応策を講じられたい。
4. 住家の近くに地すべり等の危険区域がある場所へは、早期に対応策を講じられたい。
5. 災害復旧に関し、農林業者が従業意欲を失しないよう、個人負担をなくす努力をしていただきたい。
6. 災害対応を第一とし、場合によっては、公共工事の一時中断・工期延長も視野に入れて対応していただきたい。



集められた災害ごみ



老松市長に要望書を提出する千葉前議長



各地域の被害状況を調査

道路橋梁・河川の被害状況

区分	件数	被害額
道路橋梁	478件	1,351,100千円
河川	206件	508,000千円

農業・林業関係の被害状況

区分	農地・林地	施設	被害総計	被害額
農地・農業施設	774件	703件	1,477件	1,374,601千円
林地・林道施設	8件	101件	109件	262,010千円

総務民生常任委員会



消防団員確保の取り組みを学ぶ

7月11日、栃木県鹿沼市へ行政視察に行ってきました。内容は「鹿沼市消防団員充実強化ビジョン」です。

充実強化ビジョンは、10年後を見据え、少子化や財政難に対応した計画を作成した方が、消防車や施設の更新がやりやすいということで計画を立てたものでした。また、鹿沼市の消防に関する事業は、消防団協力事業所の認定、消防団員サポート店事業、女性団員による防火啓発運動等、支援団員の設置などがあります。消防団協力事業所は39、消防団員サポート店事業の登録は115で、理容店などのサービス業のほか、建設業も登録されておりました。女性消防団は現在15人、支援団員は消防団を退団した人で132人、平均年齢は48歳とのことです。

大仙市でも消防団員確保のため、各種事業に取り組む必要があると感じた次第です。

(前委員長 佐藤清吉 記)

建設水道常任委員会



立地適正化によるまちづくりを学ぶ

7月6日、千葉県佐倉市を訪問し、平成29年3月に策定された立地適正化計画について研修しました。

同市は東京都心からの所要時間が約1時間で、ベットタウン的に栄えた鉄道駅周辺地域と、自然豊かな農村部に分かれています。三つに区分された市街地には、転入促進や転出抑制につながる住宅施策や、公共交通ネットワークの維持、さらに災害に対する安全性の向上など、居住を誘導する施策が盛り込まれておりました。また、農村部では住民サービスの低下が懸念されたため、公共交通との関係を重視しており、全体的に都市と農村が共生するまち、持続可能なまちづくりの計画となっています。

当市でも今年度中の策定を目指していることから、チェックのための情報を得ることができました。当市と共通する部分も多くあり、特に都市と農村が共生するまちづくりの観点からも、有意義な行政視察でした。

(前委員長 佐藤育男 記)

議会運営委員会



知立市議会の議場にて

7月18日、「開かれた議会」の先進地、愛知県知立市を訪問し、研修してまいりました。知立市は江戸時代に、東海道の宿場町として栄えた所です。

議会改革特別委員会委員長から、議会基本条例に沿って、議会改革の歩みについて説明をいただきました。知立市議会では、政策の立案・提言をするため政策討論会を規定し、市長へ提言しています。また、議員の自由討議によって、当局提案条例を継続審査とし、見直しを図られたとのことです。議会報告会は1カ所で年4回開催しておりますが、大仙市議会同様、参加者の減少と固定化の課題があり、対策を練っているとのことです。

政策討論会も議会報告会も議員自らが準備を行っており、議員の議会改革に対する意識の高さが参考となりました。

(前委員長 本間輝男 記)

企画産業常任委員会



起雲閣の活用を学ぶ



地域団体商標制度の説明を受ける

7月4日、5日の2日間、静岡県熱海市と特許庁へ行政視察に行っていました。

熱海市では「起雲閣の活用」について研修しました。起雲閣は大正8年の建築で、かつては別荘や高級旅館だったものを、12億円かけて取得したとのこと。現在はNPO法人に管理運営を委託し、観光名所として一般開放されている文化財です。一般開放により、同市への観光客が増加傾向にあるとのことでした。管理運営の仕方はもとより、料金収受代行制など、指定管理者制度の制度そのものも参考にできる手法だと感じました。

特許庁では「地域団体商標制度」について研修しました。この制度は、さまざまなジャンルの地域の特産品等を「地域ブランド」として登録できる制度で、現在「松坂牛」や「静岡茶」「大館曲げわっぱ」など614件の登録があるとのこと。国のお墨付きをもらって商標登録することにより、類似品・模倣品の排除やブランドに対する自負の形成、取引の際の信頼が増加するなど、その効果が多岐にわたることから、当市としても検討すべき制度だと感じました。

(前委員長 後藤 健 記)

教育福祉常任委員会

コミュニティ・スクールの
取り組みを学ぶ

子ども発達支援総合センターにて

7月3日から5日の日程で、北海道北広島市と札幌市を視察してきました。

北広島市では「コミュニティ・スクールの取り組み」について学びました。平成25年度から、地域とともにある学校づくりとして「西部コミュニティ・スクール」をスタートさせており、「地域諸団体の活動充実」「学校の教育活動に地域の教育力を」「地域・家庭・学校の連携による活動充実」などの活動で、子どもたちを「心豊かに大志をいだき たくましく生きる子ども」に育てるものでした。大仙市の取り組みを考えた場合、コミュニティ・スクールとはなっておりませんが、既に地域と一緒にあった教育がなされていると感じました。

札幌市では「札幌市子ども発達支援総合センターの運営」について学びました。子ども発達支援総合センターは札幌市全体の支援活動拠点であり、18歳までのあらゆる障害に対する支援を行っていました。診療所として子ども心身医療センター・発達医療センターがあり、そのほかにも児童心理治療センター・自閉症児支援センター・ひまわり整肢園（肢体不自由な子供支援センター）などがあり、親子で通園できるようになっていました。また、同じ敷地内には小中学生の支援学校分校があり、児童相談からリハビリ・治療・家族支援と一貫した総合支援施設となっていました。

(前委員長 古谷武美 記)

市政懇談会でいただいたご意見・ご要望の回答について

6月26日から30日までに開催した、大仙市議会「市政懇談会」でいただいたご意見と当日の回答についてお知らせいたします。その他いただいたご要望等については、各常任委員会で協議し、市長へも文書で通知いたします。

No.	会場	いただいたご意見	回答
1	南外地域 (24人)	市役所に道路の補修のお願いに行っても、予算がないと言われる。国交省との交渉も、自分たちでしなければならないのか。	限られた予算であるが、優先順位をしっかりとつけていきたい。道路の維持管理に関しては5年、10年の計画を立てているので、どうしてもこれはというのは支所に相談してもらいたい。交渉の体制は今後考えていきたい。
2		広域消防の建て替えは、地元の業者ではできないのか。	建物だけならできるかと思うが、入札に関しては議会ではタッチできない。消防・救急の業務をしながら現在地に建て替えをするには、経験が必要と思われる。
3		今後、何かを作るときは、市でプロジェクトチームを作って進めてはどうか。	議会では、公共施設の特別委員会を設置している。
4		予算の関係で、今後交付金が増えることはないか。	交付税が増えることはないと思われる。
5		水が汚れてきているが、下水の加入率は。	仙北は90%、太田30%、中仙も低い状況であり、合併槽に切り替えている。これからの施設の維持管理費を考えると合併槽だと思う。
6	はびねす 大仙(11人)	川福橋の所の五叉路の道路を改善してもらいたい。消雪パイプが冬場滑りやすいので、どうにかならないか。	道路改良を検討中。消雪は、市の部分は当局と検討していきたい。
7		大花団地の下水道整備の状況は。	2、3年の計画であったが、補助金等の関係もあり、6年以内で整備したい。
8	大川西根 地区(10人)	大曲西中学校の通学路が急勾配で狭い。改良をお願いしたい。	計画はあったものの用地交渉が難航した経緯がある。地元より要望書を提出していただきたい。(陳情受理済み)
9		蛭川地域は降雨時に雄物川から逆流し冠水する。堤防道路は通学路であり、避難誘導路でもあるので改良するか、避難場所の変更等協議をしていただきたい。	堤防道路については、一部拡幅になっている。今後とも県に要望していく。避難場所は、災害の種類で違うので検討する。避難場所の誘導路は総務民生常任委員会で協議する。
10	藤木地域 (19人)	藤木小学校・角間川小学校の統合の件。	市当局や市長については大きな問題であり、統合に向けては慎重な考えであるが、住民側からの要望があれば検討していく。
11		ふるさと納税の返礼品について。	市では返礼品として地元特産品等を送っているが、他の市町村のような高額な返礼品は考えていない。
12		学童数が少なくなっているなかで、保育料の無料化はできないものか。	少子化は全国的な問題で無料化は難しい。子育て支援については秋田市と比べると大仙市の方が良いが、秋田市に近い協和地区に移住してくる人はいない。
13		八圭藤木角の交差点への信号機を要望しているが、どのようになっているか。	大曲署に設置状況を確認しているが、順番待ちのようである。
14	神岡地域 (15人)	神岡地域 雄物川(間倉)の堤防について整備を要望しているが、なかなか進まない。力添えをお願いしたい。	補償費についての折り合いがつけば、話しが進むと思われる。国にも伝える。
15		市町村合併以来、運動会など、地域行事がなくなってきている。地域を盛り上げるため、もう少し手厚く実施してほしいと考えるがどうか。	行政主導では難しい。地元地域の意見を取り入れる体制を整備する必要がある。特に若い世代の声を喜んで受け入れることが重要と考える。例として南外地域ではそのように進めており、地域枠予算のほか、地元の企業や商店から寄付をいただいて運営している。
16		働く場所(工場等)の誘致活動の状況は。	老松新市長は、大規模なものではなく、5ha程度のものを市内各所に造る考え。企業誘致のための首都圏の企業との懇談会は毎年継続している。老松新市長はトップセールスが重要と考えている。
17	中仙地域 (17人)	花火産業に予算が多いのではないかと。また必要であるか。	花火構想に必要である。必要性の説明を行っていきたい。
18		消防ポンプ小屋は、どうして街中から移動したのか。	消防再編時に相談し、移動したものと思う。
19		小滝川の管理体制は。	県管理のため、今後お願いしていく。
20		いろいろな物に花火シールなどを貼り、PRするべきではないか。	大曲の花火ブランドを、他産業にも波及させるよう検討したい。



No.	会場	いただいたご意見	回 答
21	西仙北地域 (35人)	中央公民館がいつ建設されるのか。老朽化しているし、利用度も高い。高齢者は階段・畳も大変で、座椅子が必要である。	6月20日、関係者、地元議員に市から説明があり、現在地に31年までに建て替えを考えている。座椅子も必要であると考えている。
22		HUBスペースはトイレもなく、使いにくい。できたのも誰も知らない。	できて良かったという人と不便だという人もいるが、これからの子どもたちの活性化の場になると思う。PRについては努力していきたい。
23		地域格差をどう思うか	都市計画の見直しが必要で、地域格差の解消が大事である。大仙市全体を考えた議員活動をしていきたい。
24		支所にさまざまな要望をすると、予算がないというのが答えて、本庁に伺わなければだめである。もっとスピーディーに、そして予算もつけてほしい。	今年も支所で使える予算をつけているが、さらに権限と予算をつけるよう伝える。
25	協和地域 (24人)	少子化が進む現状において、地域の公共交通やスクールバスの今後の見通しはどうか。	市内の公共交通はいろいろな形で行っているが、今後地域ごとの問題も含めて検討していく。
26		定住・移住の促進やホームシティ、パームシティなどの促進に取り組んだらいいか。1年を通して住民が主体となる体験ができるようにならないか。そのための交流センター等の建設は考えられないか。大仙市独自の施策はないか。	移住定住についてはお試し移住など、いろいろな形で実施している。公共施設等も含めて検討していく。
27		空き家対策について、市の考え方はどうか。	空き家対策の条例に基づき、空き家の程度に応じて対応している。
28		生活保護をもらい施設に入っているため、空き家になっている。どうしたらいいか。	空き家バンクに登録していただくが、行政では限界がある。今後の課題である。
29		地域で行事を行える施設を残してほしい。健康年齢を上げるための事業を行いたい、予算がない。	介護保険の対象にならない人々が集って運動をするための補助制度があるので活用してもらいたい。館長を置くなどして、施設の維持管理に努める。
30	生産調整がなくなるが、次年度以降はどうなるのか。	J Aが主体となり、次年度も生産調整は続く予定と聞いている。法人や認定農業者への対応は、今後も続くと思われる。	
31	太田地域 (32人)	30年以内に来ると言われる大地震に対しての防災計画が必要ではないか。	各地域に合った防災ハザードマップを作成中である。
32		太田文化プラザは耐震になっているのか。	再度検査したところ、耐震は問題ないとの報告をいただいている。
33		太田文化プラザに洋式トイレを増やしていただきたい。	市では洋式化を進めているので、リフォーム時に進めていくよう要望していく。
34		太田文化プラザと太田支所のリフォームの日程は。	今年の予算で計画を立てて、来年度からリフォームに入る。
35		公共施設で、予約なしで誰でも利用できる施設が欲しい。	西仙北に空き家を利用した自由に使える施設があるので、各地域にも必要と思う。大曲のヒカリオにある「Anbee大曲」には自由に使える施設があるので、このような施設を今後は増やしていくよう要望していく。
36	仙北地域 (11人)	地域の防災体制について、集落内助け合い情報の共有化を、民生委員、消防、集落の長で進めるべきと考えるがどうか。	良いことだと思うが、家族から情報を提供していただくことが前提となるので、さまざまな課題を踏まえながら、検討させていただきたい。
37		少子化が進む中、教育費予算が増加しているがその内容は。また、仙北地域での学校統合の予定はあるのか。	子どもは地域の宝。教育費は重点施策として手厚くなっている。仙北地域での学校統合の予定はない。行政からの押し付けではなく、あくまで地元からの声がまとまらなければ検討に入らない。
38		学校統廃合について、校舎やグラウンド、備品等についてはどのように処理していくのか。グラウンドについては、ドローンの利用の学習などに使ってはどうか。	これまで委員会でも取り上げているが、有効利用されるよう、今後も取り上げていく。ドローンの利用については、今後の検討事項としたい。
計	198人		

()は参加者数



第3回臨時会 決算特別委員会審査日程

- 11月7日(火) 全体会 (審査方法、日程等の確認)
分科会審査
- 8日(水) 分科会審査
- 9日(木) 分科会審査
- 10日(金) 事務調整
- 13日(月) 全体会 (分科会会長報告、全体審査)

12月定例会日程のお知らせ

- 11月28日(火) 本会議第1日(市政報告、議案等上程)
- 12月7日(木) 本会議第2日(一般質問)
- 8日(金) 本会議第3日(一般質問、議案質疑、委員会付託)
- 11日(月) 常任委員会審査
- 12日(火) 常任委員会審査
- 18日(月) 本会議第4日(委員長報告、質疑、討論、表決)

※現時点での予定であり、変更される場合があります。
変更内容は随時、議会ホームページでご案内しています。

議長交際費 (7月1日～9月30日)

		件数	金額
予算額			900,000円
既支出額		23件	159,368円
今回支出額		25件	305,200円
内 訳	弔慰	1件	30,000円
	慶祝	11件	74,000円
	協賛	13件	201,200円
予算残額			435,432円

(7月)

- 3日 教育福祉常任委員会「行政視察」(～5日)
- 4日 企画産業常任委員会「行政視察」(～5日)
- 6日 建設水道常任委員会「行政視察」(～7日)
- 11日 総務民生常任委員会「行政視察」(～12日)
- 13日 広報広聴常任委員会
- 18日 議会運営委員会「行政視察」(～19日)
- 21日 大仙市・仙北市・美郷町議会議員交流会
- 31日 大雨災害に関する議会報告会
及び被害状況調査

(8月)

- 7日 会派代表者会議
- 10日 建設水道常任委員会「所管事務調査」
- 21日 議会運営委員会
広報広聴常任委員会
- 28日 第3回定例会(第1日)
議員説明会
議員全員協議会
公共施設等総合管理計画調査特別委員会

(9月)

- 5日 第3回定例会(第2日)
議会運営委員会
- 6日 第3回定例会(第3日)
- 7日 各常任委員会(企画産業除く)
総務民生常任委員会協議会
- 8日 企画産業常任委員会
企画産業常任委員会協議会
- 11日 議会運営委員会
- 13日 第3回定例会(第4日)
総務民生・建設水道常任委員会
議員説明会



7月・8月の豪雨に9月の地震と、大仙市では夏から秋にかけて災害に悩まされる時期が続きました。特に7月22日未明から降り続いた記録的な豪雨は、家屋や田畑等に甚大な被害をもたらした。秋の収穫にも大きな影響を及ぼしました。被害に遭われました皆さまには心よりお見舞いを申し上げます。

また、8月の豪雨の際は、全国花火競技大会の前日まで雨が降り続き、夕方まで冠水している会場に、肩を落とす花火ファンも多かったと思いますが、夜を徹しての復旧作業のおかげで無事に開催することができました。関係者の皆さまが一丸となって、災害に負けずに花火大会を成功させたいと前を向くその思いに胸を熱くしました。改めて関係者の皆さまに敬意と感謝を申し上げます。

さて、大仙市議会は任期満了に伴い9月に選挙が行われ、10月より新たな議員構成での議会がスタートしました。広報広聴常任委員会の委員も、新たなメンバーとなったのスタートです。「議会だより」は議会と市民の皆さまをつなぐ大切なツールの一つの思いを再認識し、議会の活動が「しっかりと伝わる議会だより」の作成を心がけてまいりたいと思います。よろしくお願いたします。

(委員長 後藤 健 記)

広報広聴常任委員会
委員長 後藤 健
副委員長 高橋 徳久
委員 小笠原昌作

佐藤 隆盛
佐藤 利恵
佐藤 文子
佐藤 育男
古谷 武美
橋村 誠



編集後記